

広島市のMICEの推進について

平成29年(2017年)8月25日

広島市経済観光局観光政策部
MICE戦略担当

～説明の前に～

- 1 MICE開催の効果
- 2 広島市のMICEの位置づけ
- 3 コンベンションゾーン
- 4 主な展示施設
- 5 広島市の現状
- 6 アクション(主な施策展開)
- 7 他都市のMICE施設の整備状況

説明の前に

- ◎ MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のことであり、**多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称**をいう。



1 MICE開催の効果

◎ MICE開催による経済的波及効果

特に、MICE参加者は、滞在期間が長く、一般観光客以上の高い消費額が期待できることから、**経済的波及効果が高い。**

例：消費額の比較



国際会議[平成28年度データ]
1人当たりの消費額：39,998円/人 ⇒ 経済波及効果額：63,497円/人

1 MICE開催の効果

MICEの開催
(新規及び再訪)

総合的な効果

交流人口の増加

都市の存在感の向上 (イメージ向上、情報発信)

経済的波及効果<短期的な効果>

消費の拡大

地域経済の活性化 (広域性を含む)

リピーターの獲得

社会的波及効果<長期的な効果>

ビジネス機会の創出、国際化 (ネットワークの構築)

文化・スポーツ・芸術の振興 (保存・継承、情報発信)

産業の振興 (共同研究、イノベーションの創出)

人材育成 (世界のトップレベルとの接触、会議開催・運営スキルの向上等)

都市の競争力の強化

波及効果

波及効果

迎える平和の推進

ブランド力の向上

2 広島市のMICEの位置づけ

<広島市の観光施策の柱>

● 第5次広島市基本計画

観光の振興

- 1 都市のにぎわいづくりの推進
- 2 観光プログラムの開発と充実
- 3 ビジターズの実入環境づくり
- 4 ひろしま観光情報の発信
- 5 「水の都ひろしま」づくりの推進

● 「世界に誇れる『まち』の実現に向けて」～市政推進に当たっての基本コンセプト～

観光の振興

- 1 来広者へのおもてなし
- 2 新たな観光資源の発掘・観光メニューの提供
- 3 近隣市町との連携

M
I
C
E
の
推
進

平成24年度にMICE
戦略担当部署を設置

3 コンベンションゾーン(平和記念公園、紙屋町)



- ・県立総合体育館
 - ・リーガロイヤルホテル広島
 - ・NTTクレドホール
 - ・ホテルメルパルク広島
- (10,000人規模まで対応可能)

を核としたゾーン
紙屋町ゾーン

県立総合体育館

リーガロイヤルホテル広島

旧市民球場跡地

NTTクレドホール

ホテルメルパルク広島

広島国際会議場

約800m

約600m

- ・広島国際会議場
 - ・文化交流会館
 - ・JMSアステールプラザ
- (6,000人規模まで対応可能)

を核としたゾーン
平和記念公園ゾーン

約300m

文化交流会館

JMSアステールプラザ

3 コンベンションゾーン(広島駅、広島港)

広島駅周辺

- ・ホテルグランヴィア広島
 - ・シェラトングランドホテル広島
(1,000人規模まで対応可能)
 - ・広島県医師会館ホール(304人対応可能)
 - ・広島テレビ新社屋コンベンション施設<2018年6月オープン>
(1,800人規模まで対応可能)
- 広島駅に近接する
主要なホテル



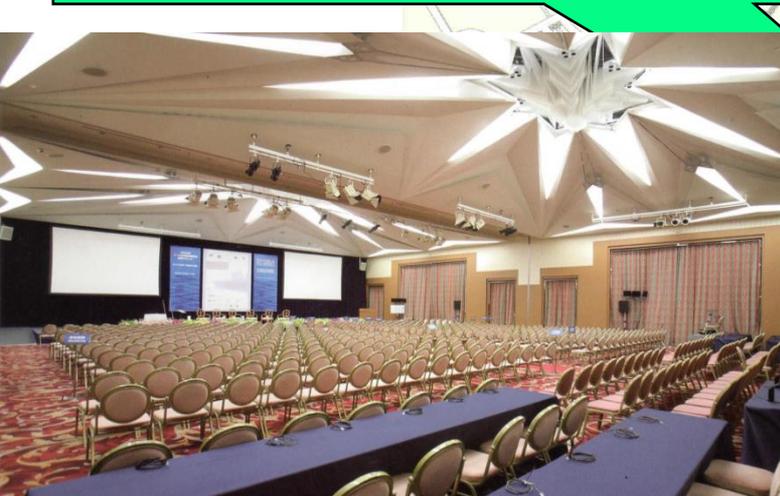
リトリート・ミーティング会場

- ・グランドプリンスホテル広島
広島最大のメインバンケットホール瀬戸内
(1,560㎡:シアター形式で2,000人、スクール形式
で1,260人対応可能) 534室1,252人宿泊可能

タクシーで約20分

バスで約20分

グランドプリンスホテル広島



4 主な展示施設



- ・総合展示館: **2,640㎡** (4分割利用可能)
- ・研修室(第1・第2): 237㎡ (2分割利用可能)
- ・会議室(第1・第2): 106㎡ (2分割利用可能)

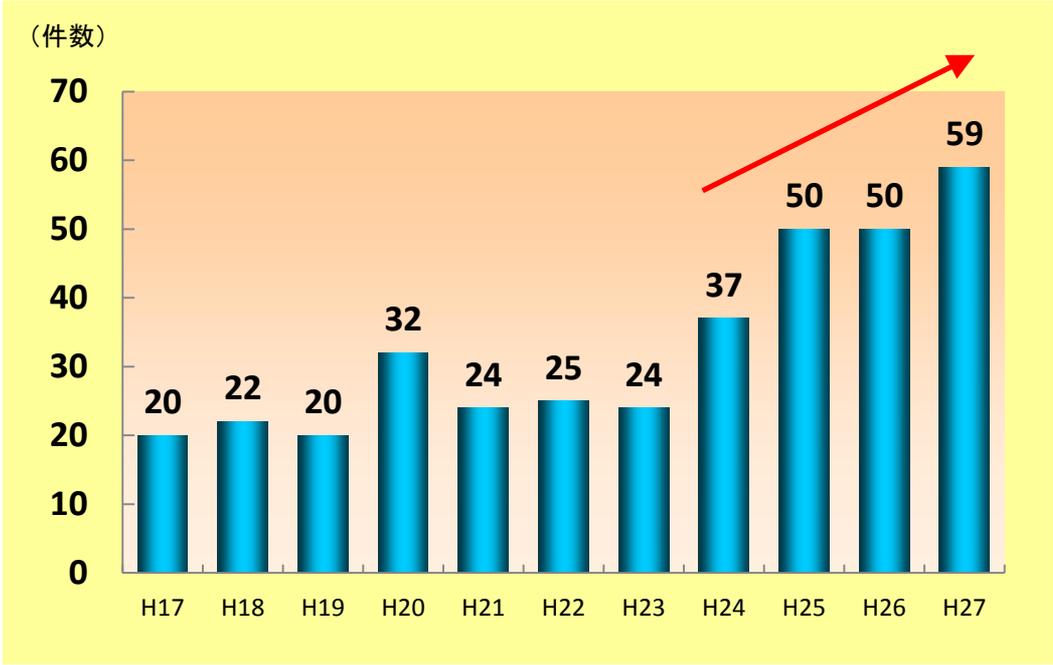
- ・本館展示場: **377㎡**
(2分割利用可能、天井 2.75m、床荷重 500kg/㎡)
- ・東展示館: **2,558㎡**
(3分割利用可能、天井 4.7m、床荷重 2t/㎡)
- ・西展示館: **2,565㎡**
(4分割利用可能、天井 4.0~7.0m、床荷重 2t/㎡)
- ・本館会議室: 143㎡

5 広島市の現状〔国際会議開催実績〕

ポイント

・広島市は、世界的な知名度、平和に関連した豊富な会議実績等の強みがあるにも関わらず、国際会議開催件数は政令指定都市10位と横ばい状況が続いている。
 ・「海外MICE市場の動向把握・情報収集」、「海外でのプロモーション」など誘致活動に必要なスキルが不足していることや、地元のホテル業界を始めとするステークホルダーや大学等との積極的な連携が開発途上の段階であることから、本市の持つ誘致ポテンシャルが十分に活かせていない。

【本市の国際会議開催実績の推移】



※JNTO(日本政府観光局)統計

【政令指定都市との比較】

順位	都市名	件数
1	福岡市	363
2	仙台市	221
3	京都市	218
4	横浜市	190
5	名古屋市	178
6	大阪市	139
7	神戸市	113
8	札幌市	107
9	北九州市	86
10	広島市	59

※JNTO統計(平成27年開催実績)

○ JNTO統計における国際会議基準:参加者数50人以上、参加国数日本を含め3か国以上、会期1日以上

5 広島市の現状〔会議及び展示会等開催実績〕

【本市の会議・展示会等の開催実績】

種別	件数	備考
国際会議	59件	日本政府観光局(JNTO)国際会議統計(平成27年)
国内会議	208件	(公財)広島観光コンベンションビューロー事業報告書 国内会議のうち、広島市内開催分(平成28年度)
展示会等	332件	広島県立産業会館及び広島市中小企業会館での 開催実績(平成28年度)
(内訳)	(206件)	広島県立産業会館 【面積稼働率 53.7%】
	(126件)	広島市中小企業会館 展示館 【日数稼働率 70.1%】

※ 広島県立産業会館での開催件数はHPで把握可能なもののみ。

6 アクション(主な施策展開)

誘致に向けたセールス・プロモーションの強化

- マーケティング機能の強化
- MICE国際見本市等への出展・参加機会の拡充
- 海外MICEキーパーソン等の視察受入
- 広島独自のネットワークを活用したセールス活動
- 首都圏でのセールス活動の強化
- ホームページのリニューアル等の情報発信の強化
- MICE推進のためのブランディング

誘致・開催を支援するプログラムの充実

- 会議主催者・参加者のニーズに基づいた効果的な誘致・開催支援メニューの充実
- 魅力的なユニークベニューの開発やアフターコンベンションの充実

産学公及び市民等 地域・近隣市町との 連携強化

- 地元MICE関係者の連携によるサポート体制の強化
- MICE人材の育成
- 大学との連携強化による学術会議の誘致の推進
- 広島広域都市圏の資源を活用した魅力的なユニークベニューの開発やアフターコンベンションの充実

施設、交通面での 機能強化

- 多目的・多機能な展示施設の整備とMICE施設の機能強化
- 市内中心部への会議・展示施設の増設や宿泊施設の誘致の検討

7 他都市のMICE施設の整備状況

◎ 主な施設の新設・増床計画(全国)

12施設
(新設8・増床4)

